

## MB&F – コンセプトラボの誕生

2005年に設立されたMB&Fは、世界初の時計製作専門コンセプトラボとして傑出した創造性を誇ります。ブランドはこれまでに約20種類の秀逸なキャリバーを開発し、それらをベースにして製作されたオロロジカル・マシンとレガシー・マシンは高い評価を得てきました。そして現在も、創業者でありクリエイティブディレクターでもあるマキシミアン・ブッサーのビジョンに基づき、従来の時計作りの殻を破ってキネティックアートを思わせる立体感豊かな作品を生み出し続けています。

マキシミアン・ブッサーは15年間にわたり高級腕時計ブランドをマネージング。2005年ハリー・ウィンストンのマネージングディレクターの職を辞し、MB&F（マキシミアン・ブッサー&フレンズ）を創立しました。MB&Fは、ブッサーが尊敬し、働く喜びを分かち合うことのできる才能あるオロロジカル職人を集め、先鋭的なコンセプト・ウォッチのデザインと小規模生産を行う芸術的なマイクロエンジニアリング・ラボです。

2007年、MB&Fは初のオロロジカルマシンであるHM1を世に送り出しました。HM1の彫刻の様な立体的なケースと美しく仕上げたエンジン（ムーブメント）は、その後のブランド特有のオロロジカルマシンの基準となりました。全てのマシンは時を告げるためというより、時を語るマシンなのです。こうして製作されたオロロジカルマシンでは、宇宙（HM2、HM3、HM6）や大空（HM4、HM9）、道（HM5、HMX、HM8）、動物王国（HM7、HM10）を探索するマシンがイメージされています。

2011年には、MB&Fはラウンドケースのレガシーマシン・コレクションを発表。これらはMB&Fにとってよりクラシカルなものです。現代的な芸術品を創作するために往年の偉大な時計製造革新者とは異なる視点で複雑機構を解釈し、19世紀の腕時計製造の卓越性への敬意を払っています。LM1及びLM2に続いて発表されたLM101は、全て自社開発したムーブメントを搭載する初のMB&Fマシン。そして、コレクションの幅をさらに広げるLMパーペチュアル、LMスプリットエスケープメント、LMサンダードームの登場。2019年は史上初のレディース用MB&Fマシン「LMフライングT」の制作によりターニングポイントを迎えました。2021年には、MB&Fはレガシー・マシン誕生10周年を記念してLMXを発表。MB&Fは現代的で型破りなオロロジカルマシンと、歴史からインスパイアしたレガシーマシンを交互に発表しています。

MB&Fの「F」が「フレンズ」（Friends）を表していることから分かるように、優れたアーティストや時計職人、デザイナー、様々な分野の製造業者をブランドにとっての「友人たち」と考え、協力関係を築くことはごく自然な成り行きでした。

そうした姿勢がブランドにもたらしたのが、パフォーマンスアートとコラボレーション作品という新たな2つのジャンルでした。パフォーマンスアート・モデルは、創造性豊かな社外のフレンドがMB&Fのマシンをベースにしてアレンジを加え、新たな形で表現した作品。一方のコラボレーション作品は、腕時計ではなく別のタイプのマシンで、MB&Fのアイデアとデザインに基づいて独創的なスイスのマニュファクチュールが設計、製造を行います。レペ1839と共同で製作されたクロックなど、コラボレーション作品の多くは時間を知らせるマシンとなり、リュージュやカラダッシュとのコラボレーションでは別の種類のメカニカル・アートが創作されました。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください

シャリス・ヤディガログラー - [cy@mbandf.com](mailto:cy@mbandf.com) / アルノー・レジュレ [arl@mbandf.com](mailto:arl@mbandf.com)

MB&F SA, Route de Drize 2, CH-1227 Carouge, Switzerland

電話番号 : +41 22 508 10 38

ブッサーは、こうして誕生したあらゆるマシンにその魅力を発揮できる舞台を与えるため、従来型のブティックに陳列するのではなく、他のアーティストによる多彩なメカニカル・アートとともにアートギャラリーに展示することを思いつきました。このアイデアにより、ジュネーブに最初の MB&F M.A.D. ギャラリーが設立され（「M.A.D.」は Mechanical Art Devices : メカニカル・アート・デバイスの略）、その後台北、ドバイ、香港にも M.A.D. ギャラリーがオープンしました。

MB&F がこれまでに成し遂げた革新的な成果に対しては、いくつもの権威ある賞が与えられてきました。いくつか例を挙げると、名高い「ジュネーブ ウォッチ グランプリ」においては、その年の最も優れた時計に授与される最高賞「金の針賞（エギュイユ・ドール）」を含めた、9つものグランプリを獲得しています。2022年、LM シーケンシャル エヴォが「金の針賞」を受賞。また M.A.D.1 レッドが「チャレンジウォッチ賞」を受賞しました。2021年にはLMXが「ベスト メンズ コンプリケーション賞」を、そしてLM スプリットエスケープメント エディ・ジャケ「Around The World in Eighty Days」が「アーティストティック・クラフト賞」を受賞。2019年にはLM フライング Tが「ベスト レディース コンプリケーション賞」を受賞し、2016年にはレガシー・マシン・パーペチュアルが「ベスト カレンダー ウォッチ賞」を、2012年にはレガシー・マシン No.1が「パブリック賞（時計ファンによる投票）」と「最優秀メンズウォッチ賞（プロの審査員による投票）」をダブル受賞しました。また2010年には、HM4 サンダーボルトで「最優秀コンセプト&デザインウォッチ賞」を受賞。さらに2015年には、HM6 スペースパイロットが国際的な「レッドドット・デザイン賞」において最優秀賞である「レッドドット：ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞しています。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください

シャリス・ヤディガログラー - [cy@mbandf.com](mailto:cy@mbandf.com) / アルノー・レジュレ [arl@mbandf.com](mailto:arl@mbandf.com)

MB&F SA, Route de Drize 2, CH-1227 Carouge, Switzerland

電話番号 : +41 22 508 10 38

## MB&F - 現在までの足取り

**2022年**：MB&Fの17年の歴史の中で20番目のキャリアーとなる、LMシーケンシャルEVOが「ジュネーブウォッチグランプリ」の最高賞「金の針賞（エギュイユ・ドール）」を受賞。また、MB&FのM.A.D.ギャラリーの新しい建築アイデンティティが確立され、「MB&Fラボ」という新しいアイデンティティから生まれた新たな販売形態をシンガポールとパリで展開した年でもあります。

**2021年**：MB&Fは、レガシー・マシンコレクションの10周年を記念して、オリジナルのLM1に見られる最も印象的な特徴である、回転する半球状のパワーリザーブインジケーターなどを再現した「LMX」を発表。時計メーカーのL'Épée 1839とのコラボレーションも続き、14番目となるテーブルクロック「Orb」を発表しました。またMB&Fは、ブルガリとのコラボレーションにより、LM Flying Tのカラフルな2バージョン「アレグラ」を製作しました。

**2020年**：11番目となるオロロジカル・マシン「HM10ブルドッグ」発売。その数ヶ月後に、同じ独立系ブランドのH. モーザー社との双方向コラボレーションが実現し、「LM101 MB&F x H. モーザー」と「エンデバー・シリンドリカル トゥールビヨン H. モーザー x MB&F」の2つのモデルが発表されました。年末には、LMパーペチュアルが「LMパーペチュアルEVO」で新たな自由を得て、さらに快適な装着感と堅牢性を実現します。

**2019年**：MB&Fは、SIHHにおいてL'Épéeとの10回目の共同制作となるMEDUSA（メデューサ）を発表。史上初のレディース用MB&F「レガシーマシン フライイング T」の制作により、ターニングポイントとなった年でもある。MB&Fは、世界最速のトリプルアクシス（3軸）トゥールビヨン、レガシー・マシン サンダードームをご紹介します。

**2018年**：ステファン・サルパネヴァとの2度目のコラボレーションによるパフォーマンスアート作品、ムーンマシン2の発表から始まるMB&Fの一年。またHM9「フロー」が発表され、香港に新しいM.A.D.ギャラリーがオープンした。

**2017年**：MB&FはSIHHにて、水中をテーマとしたオロロジカルマシン N° 7 アクアポッドを発表。レガシー・マシン・スプリットエスケープメントは10月に発表された。

**2016年**：MB&Fはジュネーブの名声高い「ジュネーブサロン（SIHH）」への参加を促される。メルヒオール弟分であるシャーマンが誕生し、SIHHにて披露。その数ヶ月後、バルタザールがロボットクロックのラインアップに加わる。1月には、ドバイにて3つめのMB&F M.A.D.ギャラリーがオープン。また「カラダッシュ」とMB&Fの共作である、アストログラフ・ペン、および10月に発表されたHM8カンナム（Can-Am）が披露された。

**2015年**：MB&F 創立10周年を記念し、HMX、レペ 1839とのコラボレーションによる卓上時計「メルヒオール」、そしてミュージック・マシン3を創作。さらに、MB&Fと時計職人ステファン・マクドネルが、LMパーペチュアルでパーペチュアルカレンダー機構を再解釈。

**2014年**：初めてインハウスで開発したキャリアーを搭載した新マシン、HM6スペースパイロット&レガシー・マシン101の2機を発表。台湾の台北市に2つ目のM.A.D.ギャラリーがオープン。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください

シャリス・ヤディガログラー [cy@mbandf.com](mailto:cy@mbandf.com) / アルノー・レジュレ [arl@mbandf.com](mailto:arl@mbandf.com)

MB&F SA, Route de Drize 2, CH-1227 Carouge, Switzerland

電話番号：+41 22 508 10 38

**2013年**：2つ目のレガシー・マシン（LM2） が誕生。HM3 を HM3「メガウィンド」として再設計。

また 2013 年には、MB&F とオルゴールメーカー、リュージュとの初のコラボレーションを行う。宇宙船のようなデザインのオルゴール 3 部作の第 1 作目として、ミュージック・マシン 1 を発表。

**2012年**：70 年代のスーパーカーにインスピレーションを得た HM5 を発表。40 年の歳月を経てスーパーカーが蘇った。

**2011年**：レガシー・マシン No. 1 が、19 世紀の時計製造を讃える新ライン、レガシー・マシンのデビューを飾る。同年、初の MB&F M. A. D. ギャラリーがジュネーブにオープン、そのコンセプトを「オロロジカルマシンとメカニカル・アート・デバイスの極みが一堂に会する場所」とした。

**2010年**：MB&F において今日最も革新的なウォッチ、HM4 サンダーボルトが、「ジュネーブ・ウォッチ・グランプリ（GPHG）」を獲得。また、HM3 の 2 つのバリエーションとして、HM3「フロッグ」、およびジュエリーブランド、ブシュロンとの共作による JWLYRMACHINE（ジュエリーマシン）を発表。

**2009年**：オロロジカルマシン No. 3「サイドワインダー」、「スタークルーザー」とともに、アイコン的な HM3 シリーズを発表。

**2008年**：オロロジカルマシン No. 2 が、その独特の形状とモジュラー型構造で高級時計の世界に革命を起こす。

**2007年**：MB&F 初のオロロジカルマシン、HM1 を発表。

**2006年**：初めてのマシンを開発しながら、マックス（マキシミアン・ブッサー）は世界各地を旅し、彼の事業の一端を担う将来の販売パートナーを説得。

**2005年**：大手ウォッチメーカーにおいて数十年に渡り、企業という枠組みの中で時計作りを学んだマキシミアン・ブッサーは、型破りな「MB&F」という反乱を起こす。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください

シャリス・ヤディガログラー - [cy@mbandf.com](mailto:cy@mbandf.com) / アルノー・レジュレ [arl@mbandf.com](mailto:arl@mbandf.com)

MB&F SA, Route de Drize 2, CH-1227 Carouge, Switzerland

電話番号：+41 22 508 10 38